

全国公衆衛生獣医師協議会（JAPHV）平成 25 年度 第 16 回全国大会の開催報告

全国公衆衛生獣医師協議会事務局[†]

全国公衆衛生獣医師協議会（公獣協：JAPHV）は、国や地方自治体の公衆衛生部局等に所属する獣医師、約 4,500 名で組織する団体である。獣医公衆衛生に関する技術の研鑽や調査研究を行い、公衆衛生獣医師の資質の向上と、公衆衛生行政の充実に寄与することを目的としている。

公獣協では、全国を 10 ブロックに分け、それぞれのブロック活動と全国での活動を行っている。ブロックの活動としては、調査研究発表会、研修会、総会を開催し、会報として調査研究発表会の抄録集を発行している。全国公獣協としては、各ブロックから推薦された演題の調査研究発表会、研修会、総会を開催し、会報を年に二回発行している。調査研究発表会には、日頃従事している、食品衛生分野、食肉・食鳥検査分野、動物愛護分野などに関するテーマの演題が寄せられ、全国の研究発表会の最優秀課題については海外で開催される学会へ、最優秀課題及び優秀課題については、日本獣医公衆衛生学会等の国内学会へ推薦し、研究成果の発信並びに獣医学への貢献に努めている。

平成 25 年 9 月 6 日、東京都港区元赤坂の明治記念館において、全国公衆衛生獣医師協議会の第 16 回全国大会（総会・研修・調査研究発表会・功労者表彰式）を開催したのでその概要を報告したい。

公衆衛生における獣医師の活動分野は、狂犬病予防をはじめとする動物由来感染症対策や動物愛護管理業務、食品衛生など多岐に渡っている。こうした様々な専門業務を担い、その課題を解決することは、人と動物をつなぎ、その未来を考える、獣医師でなければできない仕事である。

一方、公衆衛生獣医師の確保に苦慮している地方自治体もある。当会においても、今後も引き続き、公衆衛生獣医師の役割や、調査研究活動などについて情報発信を行い、この分野での獣医師の重要性を積極的にアピールしていくことが必要と考えている。

このためにも、大学、学生団体、獣医公衆衛生学関係者との連携を密にしつつ、公獣協の活動をさらに充実し、新たな会員を迎える取り組みを進めていく所存である。

最後に、今後とも、全国公衆衛生獣医師協議会の活動に、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

「平成 25 年度 総会・研修・調査研究発表会・功労者表彰式」の概要

日 時：平成 25 年 9 月 6 日（金） 9:30～17:15

場 所：明治記念館 富士の間

主 催：全国公衆衛生獣医師協議会

参加者：234 名（来賓を含む）

内 容：総会・研修・調査研究発表会・功労者表彰式

(1) 研修（講演）

講演「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の現状と課題」

下島昌幸（国立感染症研究所
ウイルス第一部第一室長）

(2) 調査研究発表会

各ブロックから推薦された 18 題の演題が発表され、最優秀課題 2 題、優秀課題 2 題が選考された（別記参照）。

最優秀・優秀課題は、2014 年 2 月に開催される日本獣医公衆衛生学会への発表を、また、最優秀課題は、2014 年のアジア獣医師会連合大会（シンガポール）での発表を予定している。

(3) 功労者表彰

当会の設立時から顧問としてご指導いただいた東京農工大学名誉教授 小川益男先生に感謝し、表彰を行った。

また、永年にわたり、獣医公衆衛生行政を支えていただいた公衆衛生獣医師 112 名に感謝の意を込めて表彰状と記念品を贈呈した。

功労者の方々に対して、改めてお礼とお祝いを申し上げます。

なお、表彰式典において、厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課 滝本浩司課長、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室 田邊 仁室長、日本獣医師会 北村直人顧問をはじめ来賓の皆様から、祝辞をいただいた。この場をかりてお礼申し上げます。

[†] 連絡責任者：衣笠俊之（全国公衆衛生獣医師協議会事務局）

〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 東京都福祉保健局健康安全部食品監視課内

☎03-5320-4457 FAX 03-5388-1431 E-mail: Toshiyuki_Kinugasa@member.metro.tokyo.jp



図1 国立感染症研究所 下島室長による講演ご挨拶



図2 厚生労働省 滝本監視安全課長祝辞

【別記】

	演 題 名	ブロック	発表者（所属）
最優秀賞	カニ飯における黄色ブドウ球菌食中毒対策の検討	北海道	中田嘉子（北海道渡島保健所）
	馬肉食中毒・下痢の病因物質 <i>Sarcocystis fayeri</i> 病原性タンパク質の遺伝子及びアミノ酸配列，分子生物学的性状と組換えタンパク質の作製とその性状	関 東	斉藤守弘 （埼玉県食肉衛生検査センター）
優秀賞	クドア属粘液胞子虫関連事例及び市販魚におけるクドア属粘液胞子虫保有状況	中 部	渡邊朋恵（静岡県環境衛生科学研究所）
	リアルタイム PCR法を用いた主要食中毒菌迅速スクリーニング	中 部	永田暁洋（福井県福井健康福祉センター）
優良賞	ニホンジカの肉の利活用促進に対する食の安全性確保の取り組み	近 畿	相谷祐司（三重県津保健所）
	食品営業許可施設における小規模貯水槽について	中 国	吉田正彦（鳥取県東部生活環境事務所）
	消費者への食肉リスクコミュニケーション事業の推進	近 畿	齋藤 亨 （兵庫県食肉衛生検査センター西播磨食肉衛生検査所）
	と畜場搬入子牛の志賀毒素産生性大腸菌保菌状況	中 国	近藤 真（岡山県備中保健所衛生課）
	豚におけるカンピロバクター属菌の保有状況調査	東 京	中村雅子（東京都芝浦食肉衛生検査所）
	豚疣贅性心内膜炎から分離した <i>Streptococcus suis</i> の薬剤感受性及び分子疫学的解析	北海道	大野祐太（北海道早来食肉衛生検査所）
	<i>Streptococcus suis</i> におけるSTIcomplexの分布状況調査及び簡易識別法の検討	九 州	砂川達見 （鹿児島県鹿屋食肉衛生検査所）
	と畜場搬入豚におけるレプトスピラ浸潤状況について（第Ⅱ報）	四 国	友國由香里 （愛媛県食肉衛生検査センター）
	牛白血病ウイルスが検出されたT細胞由来胸腺型牛白血病の症例	九 州	山口勝寛 （大分県北部保健所豊後高田保健部）
	青森県における麻しん排除に向けた取り組みとその成果について	東 北	西村秀太郎 （青森県健康福祉部保健衛生課 （現 青森県五所川原保健所））
	「飼い主のいない猫対策」10年間の成果	東 京	佐竹浩之 （東京都動物愛護相談センター）
	盛岡市における地域ねこ活動普及推進の取り組みについて	東 北	松館恵子（盛岡市保健所）
動物におけるSaffold virus中和抗体及び遺伝子調査結果について	四 国	細見卓司（高知県食肉衛生検査所）	
<i>Salmonella</i> <i>Infantis</i> の次世代シーケンサーを用いた系統解析	関 東	菊池 俊（千葉県衛生研究所）	